

議会報告会記録（平成 24 年 11 月 13 日（火） 南部公民館）

1 部 議会報告

問：農会長手当については引き続き議会で審議をお願いしたい。家庭に例えると市が奥さんに支払うべきお金を主人の口座に入れてしまって、主人が勝手に使ってしまったようなもの。制度自体に不備があり、市全体で千数百万円の農会に入るべき金を農会長が勝手に使っている。

答：手当は個人に対するものではなく農会に対するもの、今後各農会長会でその取扱いについて話をされると思う。

要望：農会長会への補助金は公金、農会長個人にではなく農会に出しているもの、それを農会長個人がなぜ旅行等で使ってしまうのか。ある町は農会に振り込んでもらっている、なぜ他の町でそれが出来ないのか。来年度には直っている状態にしてほしい。

要望：子どもは宝物という基本的な考え方を持って幼稚園問題などを取り扱ってほしい。金がないならあるで、あるならあるで、それなりにぶれない方針を持って考えてほしい。

要望：議員報酬について、一定の報酬が保障されていないと議員になれないという考え方がおかしい。生活費は自分で稼ぐべきで、自分たちの頃はそうしていた。

2 部 意見交換（加西市の医療の現状と充実に向けて）

問：加西市民病院が財政的に厳しいのはわかるが、他の病院に比べて法外に高い医療費を取るのでは困る。自分は以前精神科で治療を受けたが、12800 円の治療費を取られた。他の人に聞くと CT を撮ったらそれぐらいかかるが、そうでなければ普通 4000 円ぐらいだったということだった。自分は CT を断ったが治療費は同じぐらい取られた。肺炎球菌ワクチンの接種をしてもらった時も 8000 円取られたが、青野ヶ原病院では 4800 円ほど、ほとんどの病院では 4000 円ぐらいなものと聞いている。こういう事があると加西市民病院には行きにくい。

答：実情が分からないので確認したい。

答：国の定めた診療報酬に従って治療費の請求をしているので、加西市民病院の治療費がべらぼうに高いということはないはず、ぜひ確認をしたい。

問：明石市ではたこバスと言ってまちなかの狭いところでもぐるぐる回っているバスがある。今高齢になって車の免許を返上している人が多いので、たこバスのように九会の集落を回って北条にいけるような方法を知恵を出して考えてほしい。

答：検討したい。泉地区ではハッピーバスが実証運行中だが、市全体に関しても要望して

いきたい。

答：加西市民病院へのアクセスは北条鉄道とバスとの接続をスムーズにして公共交通機関を利用して行きやすくしている。そのことは駐車場の有効利用という点においても効果があると思う。

問：加西市民病院でポリープ切除手術を受けたが、他の病院でもインターネットのようなものを通じて患部の様子を見られる方法があると聞いている。これは複数の医者意見を聞けるといことで非常にいいシステムだと思った。

答：電子カルテは今年の10月1日から外来の方に対しても適用されている。北播磨の公立病院については連携が取れている。将来的には病院と診療所がそういう関係を作って無駄な検査や投薬を省く方向にある。

問：歯科医院、あるいは散髪屋さんなどでも今予約制が一般的だが、加西市民病院や診療所でも予約制をとって待ち時間を短くできないものか。

答：今でも予約制をとっているが、急性期病院という性格上どうしても都合で診療時間が遅れるということになってしまっている。

問：加西市民病院が県下でもここがいいと誇れるようなところがあれば教えてほしい。また、安心してあの世にいけるような治療をしてほしい。

答：私見ではあるが、マタニティーセンター、整形等はいいと思う。

問：参加者が24人だけ、なぜこんなに少ないのかを反省すべき、今報告したことは議会だよりを読めばわかる。議会報告会のやり方について考えてもらわないと困る。これで胸を張って議会報告会を開いたと言えるのか。

答：よく24人の方が来られたという気持ち、実際に市民の声を聞きたいという気持ちで議会報告会を開いている。